

# 暁鐘

ぎょう

しょう

第106号  
R4.4.1 発行

大山公民館だより【695号】



日田市大山公民館  
日田市大山町西大山 3600 番地  
TEL: 0973-52-3255 FAX: 0973-52-3315  
<http://www.hita-k.org/oyama/>  
oyama-k@hita-net.jp



横綱の綱を締める子どもたち

## 大山町ちびっ子相撲大会『綱打ち』開催される

3月27日(日)、老松神社横の老松コミュニティセンターにおいて、大山町ちびっ子相撲大会に出場する東西両横綱の綱を作る「綱打ち」が行われ、主催者である中川原青壮年会(会長 川辺功さん)、児童とその保護者20名が参加しました。

令和元年度の「第48回大山ちびっ子相撲大会」以来2年続けて新型コロナウイルスの影響で大会は中止となりましたが、この日は2年前の大会個人戦で優勝、準優勝した児童(大山小学校卒業生)4名が、雲竜型、不知火型の綱を締めた勇壮な姿を披露しました。

青壮年会長の川辺さんは「大山町ちびっ子相撲大会は地域の行事として長年続けてきました。これからも子どもたちが『大山で育った思い出になる』ような大会にしていきたい。」と話しました。

## 大山公民館今後の予定

4月13日(水) 自主学習教室代表者説明会

4月26日(火) 公民館運営委員会通常委員会

## 聴いて！音声配信番組「ひた農らじお」

みなさん「ポッドキャスト」って聞いたことありますか？スマホで無料で聞ける音声コンテンツのことです。

このポッドキャストを利用して情報発信を行っているのは日田市の若手農業者「日田郡連」(日田農研と大山農研で構成)のみなさん。

ポッドキャストの番組名は「ひた農らじお」。メンバーである大山農研の河津さん、三笥さん、窪さんも出演しており、河津さんは構成と編集も担当しています。

大山農研は大山公民館で月に1回自主的な学習会もおこなっており大山の若手が活躍の場を広げています。

番組1本30分程度で毎月2本配信予定、農業の面白さを発信していくとのこと、ぜひ聴いてみてください。



ポッドキャスト内で検索を



収録の様子

# 100 のコトへの挑戦

大山公民館では、自主的に「大山のまちを元気にしよう！」と同じ思いをもつ地域企画グループ「100 のコト委員会」(世話役：緒方英雄さん)の立ち上げ支援をおこなっています。グループのメンバーは大山地区住民有志37名。本年度新型コロナウイルス感染拡大の影響で思うように会合ができませんでしたが、昨年2月に大山公民館で行った100のコト委員会「ワークショップ」では、大山に元気を取り戻すたくさんのアイデアが出されたのでご紹介いたします。

## こんな施設あったらいいな

- まちづくり資料館
- まちづくり情報センター
- みんなの願い公園
- シルバーハウス（高齢者所有資産の活用）
- シェアオフィス（企業者のための合同事業所）
- シルバー産業（有機栽培農園・ハウス・加工場）
- 環境大学（キャンパス準備・誘致《環境省》）
- プラネタリウムの設置（田来原公園内）

## こんなイベントできたらいいな

- 大山川を活用したイベント（アユ釣り大会・カヌー競技会）
- AI ロボット九州地区選手権大会
- 家庭料理フェスティバル
- アウトドア映画祭
- トレイルランニング
- 大山産素材のスイーツコンテスト（商品化）
- ノスタルジックおもちゃ、生活、生産民具店
- わが家のミュージアム展（絵画、書、器、工芸品）
- 九州選抜座長大会（大衆演劇大山公演）
- 筑後川流域音楽祭



## こんなグループあったらいいな

- NPO 法人「おおやま交流倶楽部」（新しい公共）
- 地域内消費システム（安く、家の勝手口商品に届けるシステム）
- 学校教育支援隊
- 困りごと手助け隊（カッスル隊の増強支援）
- おまつり集団「よっしゃ！おおやま」
- 海外交流協会（姉妹町、海外研修生派遣、研修生受け入れ）

## こんな祭りあったらいいな

- 春は梅まつり
- 夏は鮎まつり（大山川を使うイベント）
- 秋は収穫まつり
- 冬は星まつり
- 火祭り（鬼火焚き一本化）
- 花火大会（鮎まつり、星まつりと一緒に）
- 大山ゆるキャラ！創り



## こんなこと継承できたらな

- 烏宿太鼓、飛竜神楽を復活
- 烏宿山「裸参り」を復活
- OYT 制作映像のDVD化と活用
- 盆踊りの復活
- 国際交流（イスラエルとの姉妹町・海外交流）
- 大山川河川浄化活動（「大山川の日」）
- 大山にある神社仏閣の位置づけ（特に烏宿山）

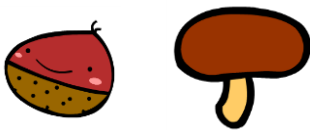


昨年2月に開催した「100 のコト委員会」ワークショップのようす

## 100 のコトへの挑戦

### こんな産業活動できたらいいな

- NPO法人「おおやま交流倶楽部」  
(新しい公共としての中核)
- 田来原公園の有効活用
- 移動販売車の購入と活用
- ジビエ家庭料理開発 (有害獣対策)
- 有害獣の肉はアフリカンサファリ等と売買契約
- 冷凍野菜・ICT農業関連の企業を誘致
- 空き家の活用
- リタイヤ世代と遊休農地のマッチング、生産量の増加
- 竹炭等、シルバー産業としての家内制手工業
- 農産物、就農形態見直し (AI化、新規就農者の確保)
- 農業後継者の確保



### こんな学習活動できたらいいな

- 講演会 (産業・暮らし・教育・趣味・スポーツ)
- フォーラム (まちづくり・農林業振興・環境保全)
- 講習会 (田舎料理・ジビエ料理・家庭菜園・花づくり・IT)
- 音楽会 (吹奏楽・マンドリン・ギター・ジャズ・邦楽・カラオケ)
- 映写会 (大山に関する映像、時代劇・漫画)
- 森の大学 (水源滋養林の保全学習会)
- 大学ゼミとの合同学習会
- 発表会 (弁論大会・研究成果発表)
- 子育て支援
- 若者文化
- ネットを使った夏休みの学習環境整備
- 考古学研究 (別府大学などと提携)
- APU アジア太平洋大学との交流



### こんな社会活動できたらいいな

- 三世代交流防災訓練
- リモートお茶会
- 婚活パーティー
- 山・川・畑を使ったムラ婚、趣味婚、歌婚
- デマンドバスの自主運行
- 農家の廃棄野菜の再活用
- 空き家・空き農地の活用と対象世帯の保護
- ガレージセール (月1回大山住民バザール)

### こんなスポーツ活動あったらいいな

- 大山町グラウンドゴルフ大会
- ミニバレーボール大会
- トレイルランニング大会
- 歩け歩け運動の推奨 (体力地域に応じたコース提供)
- ネットスポーツ大会
- 旧郡部との交流イベント



### こんな遊びあったらいいな

- 歳時記・民俗・伝承遊び・工作遊び  
(モグラ打ち、牛の世話、七夕、食べられる植物、コマ回し、ラムネ玉、めんこ、8の字合戦、けん玉、竹馬、水鉄砲、竹とんぼ、缶蹴り)
- 大山宝さがしラリー
- 100人101脚
- 天竺台に大山城の建設 (遊び感覚で)
- 水辺の郷・中の島の遊び空間としての開発



たくさんのアイデアが出されました。まずはひとつでも実現できることを目指し、令和4年度はこの委員会が目標を絞った活動を計画していきます。賛同される方、委員会メンバーになりませんか？



## 春の散歩道発見！

コロナでみなさんお疲れのことと思います。自粛自粛ともうんざりされてないでしょうか。

梅は咲いてこれから桜の季節になります。大山川沿いの散歩はいかがでしょうか？道の駅「水辺の郷おおよま」から大山公民館、続いて中川原の榎瀬橋までのコースを歩いてみませんか。往復すればおにぎり一ツ個分の消費カロリーに（約一六〇キロカロリー）なるそうです。川沿いには梅や桜、珍しい光景、野鳥などたくさん発見があります。周辺を見ながら歩くのには最適です。公民館周辺はウォーキングコースに最適です。

### ●おすすめその一「堤防沿いの桜並木」

桜を見ながら歩くだけでも癒されます。道の駅から榎瀬橋まで公民館付近が途切れるのですが桜が続きます

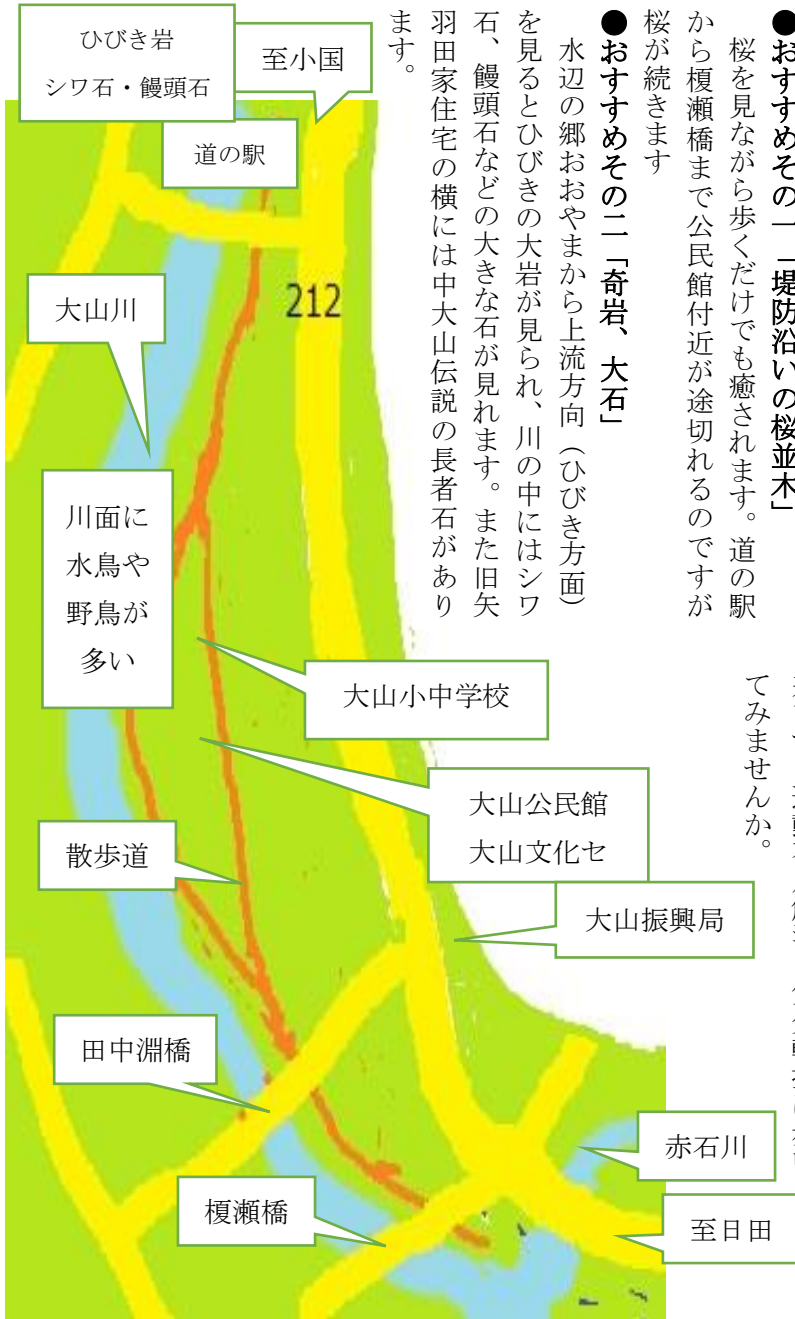
### ●おすすめその二「奇岩、大石」

水辺の郷おおよまから上流方向（ひびき方面）を見るとひびきの大岩が見られ、川の中にはシワ石、饅頭石などの大きな石が見れます。また旧矢羽田家住宅の横には中大山伝説の長者石があります。

●おすすめその三「農業水路サイホン」  
ちよつとマニアックなのですが山の際を流れる西大山水路が国道を隔てて反対側の川筋へ国道の下を横断して水路に流れています。作られて六〇年が過ぎているということです。

### ●おすすめその四「野鳥」

大山町は小さな町ですが野鳥の種類は日田市内では一番多く約一三〇種類ほどいるそうです。今水面ではマガモやカイツブリ、オシドリなどの水鳥が見られます。川岸やスキの藪にはウグイスやジョウビタキ、ホオジロ、カワセミなどを見ることが出来ます。運動不足解消と気分転換に歩いてみませんか。



## 館長の一日

新型コロナ騒動が始まってもう三年になりました。昨年の暮れごろ日田地域での感染者の数は「ゼロ」が続いていました。年が明ければ平常な生活に戻るのではと思っていました。ところが年明け過ぎから再び陽性者の数が発表され、二月一日には六一人の陽性者ということで公民館ではまたまた自粛依頼をしなければならなくなりました。中には、自主的に休みを取る教室もありました。やむを得ない判断だと思います。「公民館まつり」もコロナで二年連続で中止となっています。いろいろな学習をされてその発表の場がないことは学習意欲も半減してしまうでしょう。今年で文化センターの改修も終了します。みんなが集まり楽しい公民館まつりを多くの人に参加いただき実現したいと思っています。

そんな中、老松神社の「ちびっ子相撲大会」は中川原青壮年会の方たちのお世話で続けられもうすぐ五〇年になるそうです。大山町のほとんどの青壮年の方たちはこの相撲を経験したことになります。以前は地域の保護者の方たちもこの大会を目標にくんちの宮相撲に地域の子供たちを連れていき練習をしていました。またそれが子供たちの地域の宮祭りとの関わりの場でもありました。「五〇回までは頑張る」と中川原青壮年会の方は言われています。昨年は大会が出来なく次回の横綱候補が四名になるそうです。たくましく育った子供たちや中川原青壮年会をみんなで応援しましょう。

（黒川）